

### (3)こころの健康づくり

#### 目指す姿

誰もが心身を健やかに保ち、暮らしています。

#### 現状と課題

- こころの健康は、いきいきと自分らしく生きるための重要な要素であり、「生活の質」に大きく影響するものです。近年、価値観や生活様式など、様々なものが多様化・複雑化する中、人々は多くのストレスにさらされており、こころの健康バランスが崩れやすい状況にあります。
- 自殺はその多くが追い込まれた末の死であり、その背景には様々な社会的要因があることが知られています。「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指して、複雑化・複合化した課題を抱えている人や家族等に対して、生きることの包括的な支援を実施するためには、地域の様々な関係機関等が連携して支援を行うことが必要です。
- 国においては、平成28年4月の自殺対策基本法の改正により、都道府県や市町村に地域自殺対策計画が位置付けられたことから、本市でも他市に先駆けて計画の策定を行いました。しかしながら、全国では毎年2万人を超える方が自ら命を絶っており、引き続き、自殺者の増加が大きな社会問題となっています。こうしたことから、国は新たな対策を進めるため、令和4年10月に新たな自殺総合対策大綱を決定し、コロナ禍の自殺の動向も踏まえつつ、これまでの取り組みに加え、「子ども・若者の自殺対策の更なる推進・強化」「女性に対する支援の強化」などを追加し、総合的な自殺対策の更なる推進・強化が掲げられています。
- 自殺のきっかけは、さまざまな悩みが原因で心理的に追い込まれることや社会とのつながりの減少など、複合的な要因や背景があります。国では、世代や属性を超えて包括的に相談支援等を展開する重層的支援体制整備事業が令和3年4月に創設され、本市でも、この事業に手上げし、生活上の福祉課題を抱えた市民のニーズを踏まえ、分野ごとの制度を組み合わせ提供するオーダーメイド型の支援体制づくりを進めています。今後は、この体制を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響など喫緊の課題への対応も含め、引き続き、国の定める目標である自殺死亡率の減少目標である平成27年比30%以上減少を目指す取り組みが求められます。
- 児童福祉法改正に伴い、令和6年4月から全市町村が「こども家庭センター」の設置に向けた動きが進みつつあります。本市においては、以前から子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を中核とした連携体制である「TEAM SUKU-SUKU」により、丁寧な支援に取り組んでいます。従来から、母子健康手帳交付時に専門職による面談の中で産後うつについての啓発を行う等の取り組みをはじめ、令和5年2月から妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を開始しました。引き続き、妊産婦への支援から、いじめ・不登校の相談・支援等まで幅広く切れ目ない支援の強化が求められます。

### ①生活困窮者及び無職者・失業者の支援

- ▶経済的困窮、地域社会からの孤立、その他生活上の諸課題を抱える市民の個々のニーズに応じて、亀山市相談支援包括化サポート会議を活用し、包括的な支援を早期にかつ適切に行います。

施策：2311

### ②高齢者の支援

- ▶共通の生きがいや楽しみを見つけ、高齢者と地域とのつながりを持てるよう、介護予防教室、老人クラブ活動やサロン活動など通いの場づくりに取り組みます。施策：2321
- ▶情報交換や介護に関する学習会を通して介護者の居場所づくりを推進するため、介護者同士が集う場を提供します。施策：2322
- ▶民生委員・児童委員等が、住民の身近な場で相談ごとを受けられる体制を整えるとともに、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）との連携強化に取り組みます。施策：2323

### ③子ども・若者及び女性等の支援

- ▶子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心とした「TEAM SUKU-SUKU」の体制のもと、関係機関同士の顔の見える関係づくりと切れ目のない支援を行うとともに、一層の連携強化に向けた「こども家庭センター」の設置に取り組みます。施策：2331
- ▶妊娠届出時、妊娠8か月頃、赤ちゃん訪問時等に面談やアンケートを通じて、妊産婦の悩みや心配事等の相談に応じ、様々なニーズに合わせて必要な支援に繋がります。施策：2332
- ▶引きこもりやニートの青少年が抱える様々な課題に対し青少年総合支援センター支援員による面接相談や電話相談を実施します。施策：2333
- ▶生活困窮世帯など家庭の実情に応じ、希望する児童生徒に対し学習支援や保護者相談を行います。施策：2334

### ④生きることの促進要因への支援

- ▶必要な人への支援が届くように、こころの健康づくり、命の大切さに関する情報や市の相談窓口の周知を行うとともに、SNSを活用した双方向での相談機能の検討を行います。施策：2341
- ▶こころの不調や生きづらさを感じている人からの相談に対し、障害者総合相談支援センターの相談支援員が電話等で対応するとともに、必要に応じて訪問等の支援を行います。施策：2342

### ⑤SOS の出し方に関する教育の推進

- ▶子どもたちが支援を求める声を発することができるよう、中学校において、年間計画に命の教育の授業を位置づけ、取り組みの推進を図ります。施策：2351
- ▶小中学校へのスクールカウンセラーを活用した巡回体制により、児童・生徒、保護者、教職員への相談支援を行います。施策：2352